

恵社研 全体構造図

研究主題

社会的事象を公正に判断し，社会と主体的にかかわる力を育む学びの創造
～自分ごととして学んだことを生かす社会科の授業づくり～

【めざす子どもの姿】

- 社会的事象を多面的にとらえ，公正に判断できる子ども
- 学んだことを生かし，社会と主体的に関わることができる子ども

研究仮説 1

授業（目標・教材・単元構成）を構造化し，自分ごと化できる単元構成にすることで，多面的に社会的事象を捉え公正に判断する子どもが育つ。

研究仮説 2

自分ごととして学んだことを生かす場を設定することで，社会的事象と主体的にかかわり合いながら学ぶ子どもが育つ。

研究仮説 3

子ども一人ひとりの伸びを見取り，思考の伸びが見える評価を工夫することで，社会的事象を自ら調べ考える子どもが育つ。

【研究内容 1】

社会的事象を自分ごととしてとらえ，公正に判断できる単元構想の工夫

- ・目標の明確化からの単元構想（思考力・判断力・表現力）
- ・『単元を貫く』学習問題のあり方

【研究内容 2】

再考したり発信したりするなど，学んだことを生かす授業の工夫

- ・自分ごととして学ぶための工夫
- ・学んだことを「生かす」ための協働の場の設定

【研究内容 3】

思考の伸びが見える評価の工夫

- ・自分のよさや伸びを実感できる「自己評価」
- ・ノート，ワークシートの活用